

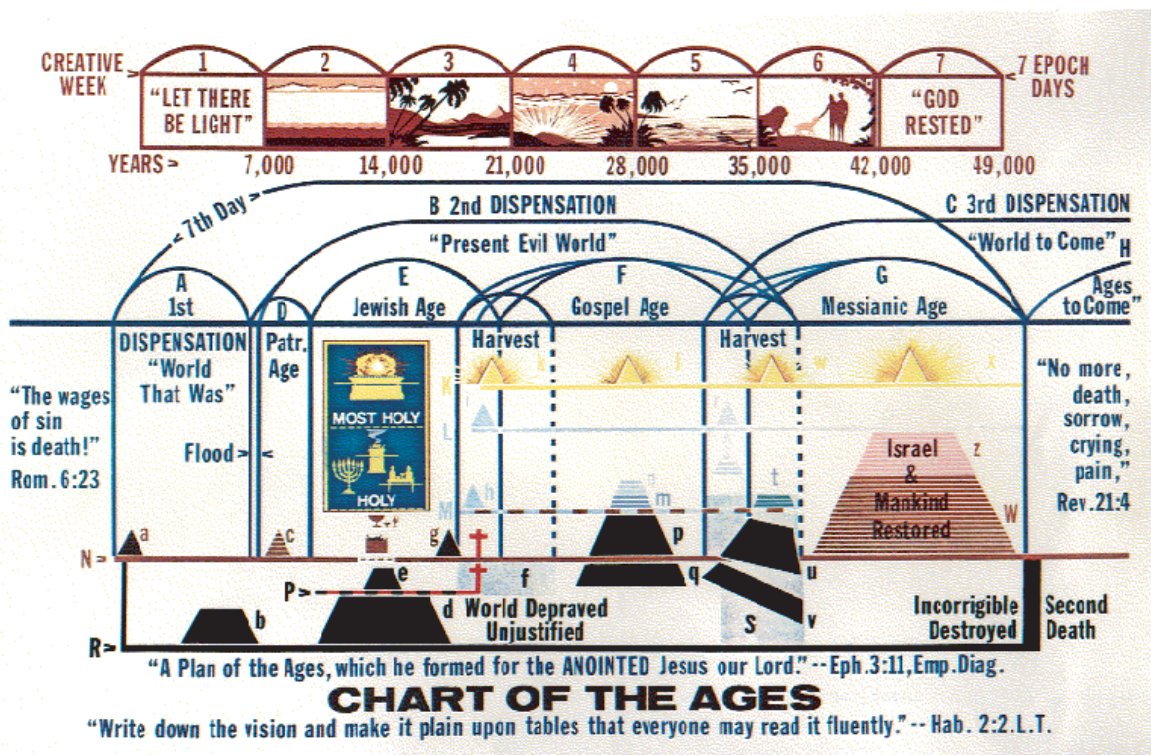
これまでものみの塔出版物は一貫してラッセルが1914年を神意によりの的確に予告していたと主張しています。

C.T.ラッセルが実際に預言していたこと：

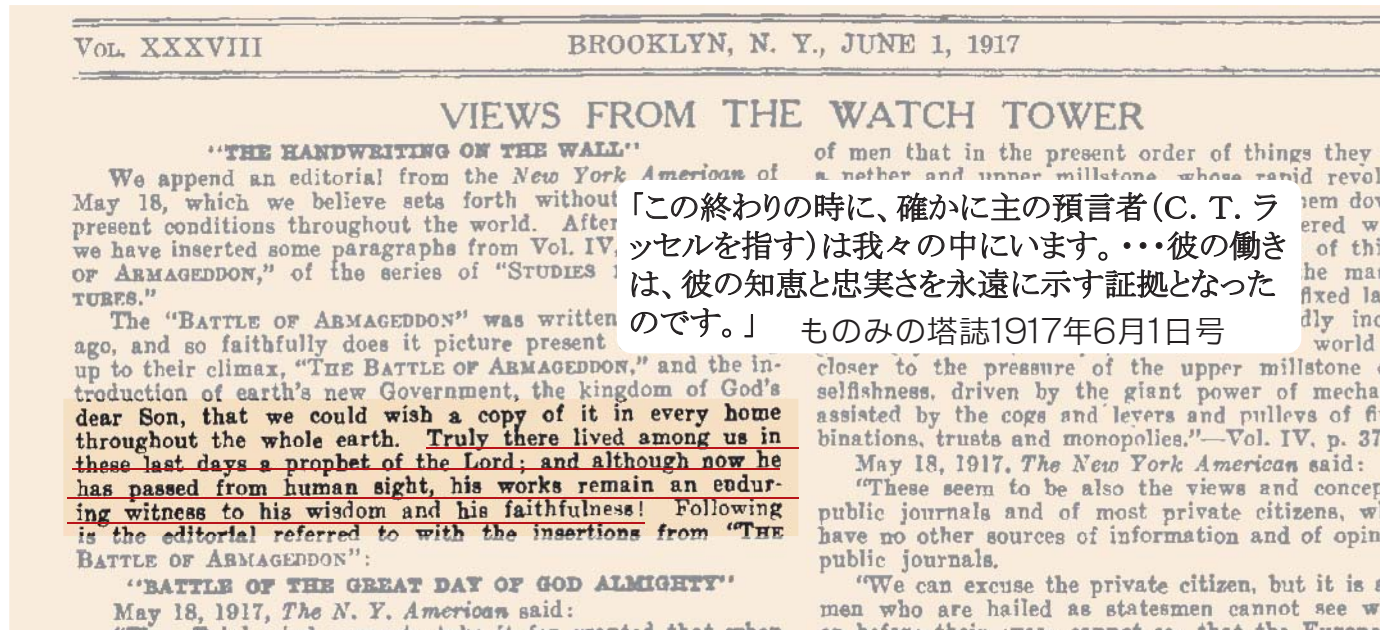
- 1878年にイエスが王位についた。
- 1874年にハルマゲドンが始まり、1914年にキリストが異邦人の政府を倒す。
- 1914年に地上のエルサレムはもはや異邦人に踏み荒らされなくなる。
- 1914年に油そそがれたクリスチャンが天にあげられる。
- バビロンと呼ばれるキリスト教も1914年に過ぎ去る。
- ラッセルが自分が打ち出した年号は「神の年号」である。

C.T.ラッセルが実際には預言していなかったこと：

- キリストが1914年に「臨在」するとは一度も預言していない。  
(臨在は1943年に出版された教理)
- キリストが1914年に王位に即位するとは預言していない。(1922年に調整)
- 1914年に「終わりの時」が始まるとは預言していない。  
(ラザフォードも終わりの時の起点を1799年としていた。)



## 『彼らは自分たちの中に予言者がいたことを知るであろう』



「誰がエホバの予言者でしょうか。誰が現代のエレミヤなのでしょう。事実を見れば、エホバの証人であることは明白です。」  
塔1959年1月15日号、40-41ページ

『彼らは自分たちの中に予言者がいたことを知るであろう』  
塔72 7/1 407ページ5-6節

エホバは彼らに警告する予言者を持っておられました。その「予言者」はひとり人間ではなくて、一団の男女で構成されていました。それは当時、万国聖書研究生として知られたイエス・キリストの追随者の小さな群れでした。今日、彼らはエホバのクリスチャン証人として知られています。そして今なお警告をふれ告げており、信仰をいだいてその音信に耳を傾ける幾十万もの人びとが彼らに加わり、委ねられた彼らのわざを助けています。

もちろん、このグループが神の「予言者」として行動していると言うのは容易です。が、それを実証するのは別問題です。そうする唯一の方法は記録を再検討することです。記録は何を示していますか。

## ものみの塔は『靈感を受けた予言者である』

「それを実証するのは唯一の方法は記録を再検討することです。  
記録は何を示していますか。」



## ものみの塔は『靈感を受けた預言者である』

「それを実証するのは唯一の方法は記録を再検討することです。記録は何を示していますか。」塔72 7/1 407ページ6節

「聖書研究」第2巻 [その時は近づいた]101頁

Be not surprised, then, when in subsequent chapters we present proofs that the setting up of the Kingdom of God is already begun, that it is pointed out in prophecy as due to begin the exercise of power in A.D. 1878, and that the "battle of the great day of God Almighty" (Rev. 16:14), which will end in A.D. 1915, with the complete overthrow of earth's present rulership, is already commenced. The gathering of the armies is plainly visible from the standpoint of God's Word.

「驚いてはならない。後の章で証拠を示すが、神の王国のセットアップはすでに始まっている。それは1818年に力を行行使し始めることが予言によって指摘されている。そして、1915年に終わる事になっている『全能の神による大いなる日の戦争』(黙示録 16:14)は、完全に現在の支配権が覆すことになるが、それはすでに始まっている。」

「聖書研究」第二集「時は近づけり」76, 78ページ

present dominions shall be utterly consumed, passing away amid great confusion.

In this chapter we present the Bible evidence proving that the full end of the times of the Gentiles, i. e., the full end of their lease of dominion, will be reached in A. D.

*Times of the Gentiles.*

77

1914; and that that date will be the farthest limit of the rule of imperfect men. And be it observed, that if this is shown to be a fact firmly established by the Scriptures, it will prove:—

「1914年は、不完全な人間による統治期間の限界である。」

もし預言者がエホバの名において話しても、その言葉が実現せず、そのとおりにならなければ、それはエホバが話されなかった言葉である。その預言者はせん越にそれを話したのである。あなたはその者に恐れ驚いてはならない』。(申命記 18:22)

## ものみの塔は『靈感を受けた予言者である』

「それを実証するのは唯一の方法は記録を再検討することです。記録は何を示していますか。」塔72 7/1 407ページ6節

「聖書研究」第二集「時は近づけり」99ページ

In view of this strong Bible evidence concerning the Times of the Gentiles, we consider it an established truth that the final end of the kingdoms of this world, and the full establishment of the Kingdom of God, will be accomplished near the end of A.D. 1915. Then the prayer of the Church, ever since her Lord took his departure—“Thy

「この「異邦人の時」に関する聖書の強力な証拠から判断して、この世の諸王国の最終的な終わり、と神の王国の完全な設立は、1915年の終わりまでに（終わり近くに）達成されることは確かな事実（真理）と考えられる。」

「シオンのものみの塔」1892年1月15日号22ページ

what the scriptures had led us to expect—yet so great is our confidence in the Word of God and in the light of present truth shining upon it, that we could not have doubted its testimony whatever had been the appearances. The date of the close of that “battle” is definitely marked in Scripture as October, 1914. It is already in progress, its beginning dating from October, 1874. Thus far it has been chiefly a battle of words and a time of organizing forces—capital, labor, armies and secret societies.

Never was there such a general time of banding together as at present. Not only are nations allying with each other for protection against other nations, but the various factions in every nation are organizing to protect their special in-

「その『戦い』の終結の時日は、聖書の中で明白に記されており、1914年の10月である。それはもうすでに1874年の10月から始まっている。」

もし予言者がエホバの名において話しても、その言葉が実現せず、そのとおりにならなければ、それはエホバが話されなかった言葉である。その予言者はせん越にそれを話したのである。あなたはその者に恐れ驚いてはならない』（申命記 18:22）



## ものみの塔は『靈感を受けた預言者である』

「それを実証するのは唯一の方法は記録を再検討することです。記録は何を示していますか。」塔72 7/1 407ページ6節

ものみの塔 1894年7月15日 1677ページ

### ELAYED UNTIL 1914?

fe- archy, our readers are writing to know if there may not be a  
able mistake in the 1914 date. They say that they do not see how  
ould present conditions can hold out so long under the strain.  
oved We see no reason for changing the figures—nor could we  
ould change them if we would. They are, we believe, God's dates,  
not ours. But bear in mind that the end of 1914 is not the  
y is date for the *beginning*, but for the *end* of the time of trouble.  
" We see no reason for changing from our opinion expressed in  
an- the view presented in the WATCH TOWER of January 15, '02.  
We advise that it be read again.

### 1—DO YOU KNOW?

私たちは、その数字を変更するための理由が分かりません—果たしてそれらを変更できるのでしょうか。それらはそうである、と私たちは信じます。それは私たちのものではなく神の日付だからです。しかし、1914が困難の時の始まりではなく終わるときの日付であることを心に留めておいてください。私たちには、'(18)92年1月15日のものみの塔の中で示された図表の中で表現された私たちの見解を変える理由はありません。私たちは、それが再び読まれるように助言します。

「ものみの塔」1916年9月1日号 265ページ

being identified with, and increasing zeal in helping to bring that truth to the knowledge of others. In the meantime, our eyes of understanding should discern clearly the Battle of the Great Day of God Almighty now in progress; and our faith, guiding our eyes of understanding through the Word, should enable us to see the glorious outcome—Messiah's kingdom. Furthermore, we can be fully content not to know how long the harvest work will last—content that the great Captain, who by divine appointment has the entire matter in charge.

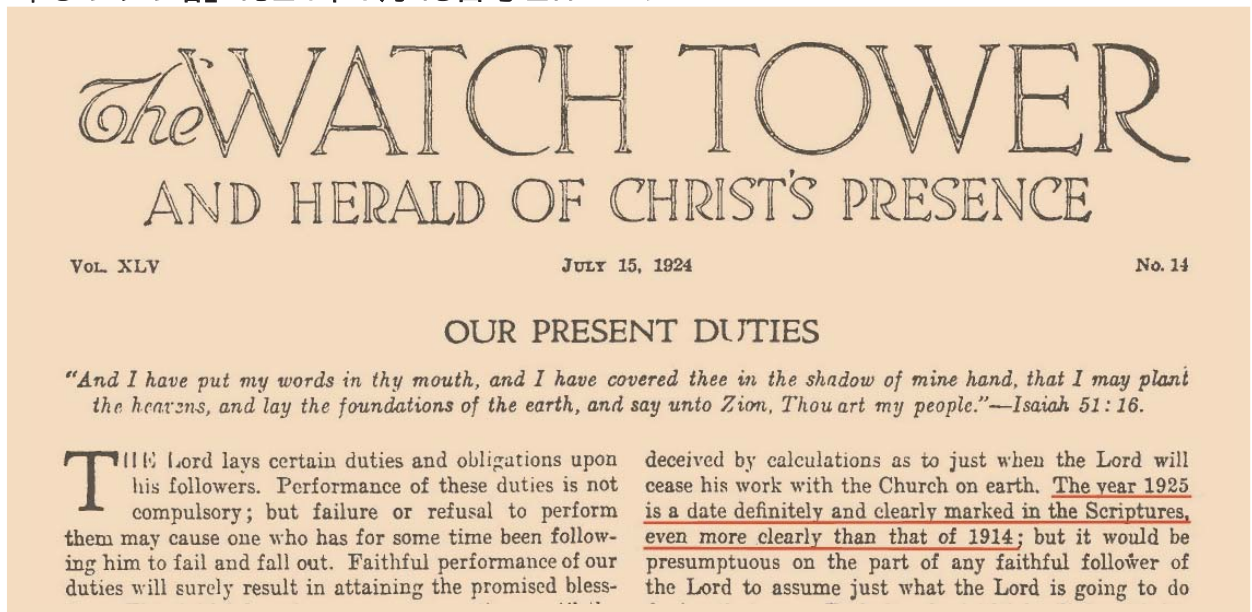
「私たちは、理解の目をもって、今、全能の神の大いなる日の戦いが進行中であることをはっきりと悟るべきである。」

もし預言者がエホバの名において話しても、その言葉が実現せず、そのとおりにならなければ、それはエホバが話されなかった言葉である。その預言者はせん越にそれを話したのである。あなたはその者に恐れ驚いてはならない』。(申命記 18:22)

## ものみの塔は『靈感を受けた預言者である』

それを実証するのは唯一の方法は記録を再検討することです。  
記録は何を示していますか。塔72 7/1 407ページ6節

「ものみの塔」1924年7月15日号 211ページ



「1925年という年は、1914年よりも、聖書の中で明確に示されている年である。」

「ものみの塔」1924年1月1日号 5ページ

### ITS MEANING TO THE CHURCH

<sup>16</sup>Surely there is not the slightest room for doubt in the mind of a truly consecrated child of God that the Lord Jesus is present and has been since 1874; that the harvest has been in progress during that time; that most of the saints have now been gathered. Therefore, can there be a reasonable doubt about the early completion

「主イエスが1874年から臨在しておられるということは、・・・疑う余地のない事柄である。」

もし預言者がエホバの名において話しても、その言葉が実現せず、そのとおりにならなければ、それはエホバが話されなかった言葉である。その預言者はせん越にそれを話したのである。あなたはその者に恐れ驚いてはならない』（申命記 18:22）



## ものみの塔は『靈感を受けた預言者である』

「それを実証するのは唯一の方法は記録を再検討することです。記録は何を示していますか。」塔72 7/1 407ページ6節

ものみの塔 1941年9月15日 288ページ

clashed it to them, not a toy or plaything for idle pleasure, but the Lord's provided instrument for most effective work in the remaining months before Armageddon. What a gift! and to so many! The manner of releasing the new book *Children* was an outright surprise to all, but the almighty hand of the All-wise One, Jehovah, was in it, and the maneuver was most blessed indeed. Thereafter *Children*, the author's edition, was disposed of to adult conventioners, on a contribution.

「贈り物（「子供たち」という出版物）を受け取り、行進する子供たちはそれを胸に抱きかかえた。それは、遊ぶためとか楽しむためのものではなくハルマゲドンまでの数ヶ月の間、最も有効的に働くために、主が備えてくださった道具である。」

「目ざめよ」1969年5月22日号15ページ 日本語版は、1969年8月8日号15ページ

If you are a young person, you also need to face the fact that you will never grow old in this present system of things. Why not? Because all the evidence in fulfillment of Bible prophecy indicates that this corrupt system is due to end in a few years. Of the generation that observed the beginning of the "last days" in 1914, Jesus

「若い人々はまた、現在のこの事物の体制の下で年配に達することは決してないという事実を直視しなければなりません。どうしてそう言えますか。なぜなら聖書預言の成就という証拠はすべて、この腐敗した体制があと数年のうちに終わることを示しているからです。・・・もしあなたがいま高校生で、大学教育をこころざしているとすれば、・・・しかしこの事物の体制はその時までになんてなっているのでしょうか。もし実際に過ぎ去っていないとすればほとんどその終わりに達していることではないでしょうか！」

もし預言者がエホバの名において話しても、その言葉が実現せず、そのとおりにならなければ、それはエホバが話されなかった言葉である。その預言者はせん越にそれを話したのである。あなたはその者に恐れ驚いてはならない』（申命記 18:22）